

～新潟県拠点情報かわら版～

お知らせ

北陸農政局新潟県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて、地域の皆様にタイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに、農業現場の抱える課題や農政に対する意見をきめ細かに汲み上げ、各種施策につなげていくこととしていきます。

地域の農業者（地域の担い手や若手農業者、女性農業者など）の方の集まり等で、「農業施策の〇〇について聞きたい。」といった御要望がございましたら、直接伺って御説明いたします。

御遠慮なく、お気軽に下記へ御連絡ください。

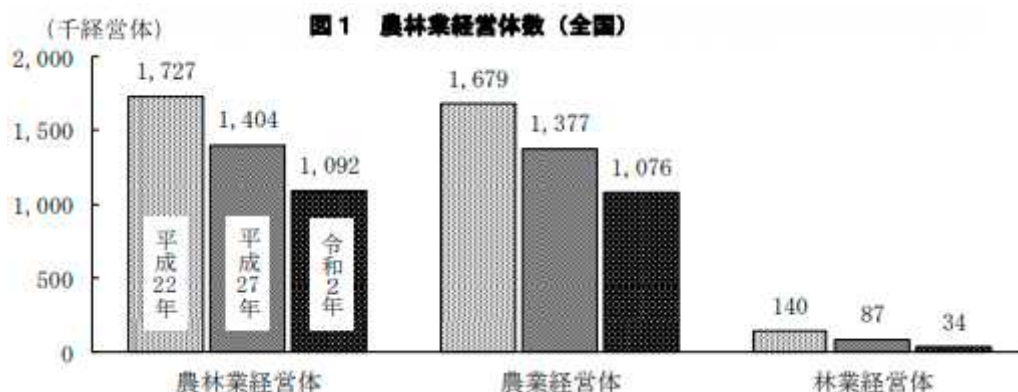
令和3年4月23日

○「2020年農林業センサス結果の概要（確定値）」の公表について

農林水産省は、「2020年農林業センサス結果の概要（確定値）」を取りまとめましたので、お知らせします。

農林業経営体数は109万2千経営体で、5年前に比べて31万2千経営体（22.2%）減少しました。このうち、農業経営体数は107万6千経営体で同21.9%減少、林業経営体数は3万4千経営体で同61.1%減少しました。

なお、令和2年11月27日に公表した概数値からほぼ変動はありません。また、今回、新たに雇用者の状況、作物別の作付（栽培）経営体数と作付（栽培）面積、家畜の飼養経営体数と飼養頭羽数等の結果を公表しました。



詳細はこちらから → <https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noucen/index.html#y>

連絡先

北陸農政局新潟県拠点地方参事官室

〒951-8035 新潟市中央区船場町2-3435-1

TEL 025-228-5216 FAX 025-223-2264

あふてらす
農林漁業はじめるサイト

「あふてらす」は、農業・林業・漁業、その加工・販売に興味がある方、これからはじめたい方向けの情報を発信しています。



〇やっぱりごはん、いただきMAFF！

米消費拡大の機運を盛り上げるため、JAグループが主体となって始めた「ご炊こうチャレンジ」。農林水産省も令和3年4月27日より全省挙げて参画します。第1弾として、野上農林水産大臣も出演する「大臣におにぎり食べてもらった。タガヤセキュウシュウ」動画を公開するとともに、特設ページ「ご炊こうチャレンジ！いただきMAFF！」

(<https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/itadakimaff.html>)を「やっぱりごはんでしょ！」サイト内にオープンします。今後、全国の地方農政局等でも展開していきます。

MAFF
Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries
農林水産省



いただき  MAFF!



【タガヤセキュウシュウ】鹿児島の実家から届いた米を羽釜で炊いて作った自称“最強の”おにぎり。大臣の感想は・・・？

動画はこちらから→<https://www.youtube.com/watch?v=EkhkT2DBpGY>

詳細は

いただきMAFF！

🔍 検索



又は

https://www.maff.go.jp/j/press/seisaku_tokatu/kikaku/210427_9.html

○「農村プロデューサー」養成講座の入門コースが開講しました

農林水産省が本年3月にWebサイトを開設した、「農村プロデューサー」養成講座について、5月11日から入門コースが始まります。このコースでは、農山漁村地域における創意工夫に溢れる地域づくりの取組内容を学ぶため、地域づくりに造詣が深い方々を講演者としたオンライン講演が全6回実施されます。地域づくりに関心のある者が幅広く参加可能ですので、御興味のある方は積極的に受講していただければと思います。講演内容は以下のURLから専用Webサイトを御確認ください。

1.入門コース

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入門コース (オンライン講演)		全6回										
実践コース(1) (オンライン講義)						全4回						
実践コース(2) (実例を基にした模擬演習等)						仙台会場	岡山会場	熊本会場				
実践コース(3) (研修生自らの実践活動)							オンラインゼミ 全1回	研修生 地元で実践		オンラインゼミ 全1回		
研修修了生等の ネットワーク												ネットワーク 構築へ

(1)オンライン講演

入門コースでは、農山漁村地域における創意工夫にあふれる地域づくりの取組内容を学びます。地域づくりに造詣の深い方々を講演者としてお招きし、活動内容や成果、動機等をご講演いただきます。

(2)受講対象者

地域づくりに関心のある者が幅広く参加可能です。

(3)実践コースとの関係(応募時の考慮事項)

実践コースを受講する際は、別添「実践コース受講申込書」をご提出頂く必要があります。この中では、「入門コースの受講状況の確認」欄を設けており、印象に残った入門コースの内容を記載頂くこととしております。

入門コースの受講は、実践コース申込み時の必須条件ではありませんが、選考する際の考慮事項となりますので、応募をご検討されている方は、本コースをできる限り受講することをお勧めします。

(4)受講にあたって


入門コースの受講は、通信費を除き無料です。

チャットによる質問も可能としております。(全ての質問に回答できない場合があります。)

受講のためのミーティングルームURLは、各講演の開講当日の30分前に掲示予定です。

【留意事項】

今回、入門コースに用いるWeb会議システムは、「Cisco Webex」です。

講演へのご参加の際の注意事項をこちら(PDF:468KB)  に掲載しましたので、ご確認ください。

Web会議システムの仕様により、接続人数が上限(1,000名)に達すると新たな接続が行えなくなります。

予めご了承ください。

詳細は

農村プロデューサー養成講座

🔍 検索



又は

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/course/index.html>

○令和3年度からeMAFFは本格稼働します

農林水産省では、申請者の利便性向上を目指し、所管する法令に基づく申請や補助金・交付金の申請をオンラインで行うことができる電子申請システム(農林水産省共通申請サービス(通称:eMAFF))を昨年度に構築しました。

令和3年度からはeMAFFが本格稼働し、林業・漁業も含め申請手続のオンライン化を順次拡大していきます。

<eMAFFによるオンライン申請のメリット>

1. 窓口に行かなくとも自宅や職場のパソコンやスマートフォン、タブレットから申請ができます。
2. eMAFFに各種手続が掲載されるため、ワンストップ(一か所でサービス実現)で各種手続の申請が可能になります。
3. eMAFFに申請情報が蓄積されるため、紙で管理する手間が省けます。
4. 蓄積された申請情報が自動的に申請フォームに自動転記されるなど、ワンスオンリー(一度提出した情報は、再提出(再入力)不要)により、入力作業が楽になります。
5. eMAFF上で自分が行った申請の状況を把握することができます。
6. 経済産業省が構築した法人共通認証基盤(GビズID)で払い出されるIDを利用することにより、書類の押印を省略することができます。また、二要素認証(2つの異なる方法による認証)により、申請者の確認を行います。



詳細は

eMAFFによるオンライン申請

検索

又は

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/joho/200318.html>

